

取付説明書



アルパイン 9型ナビゲーションユニット

当製品の適合情報は2017年7月現在のものです。商品の仕様変更により予告無く変更になる場合があります。
最新の適合情報は弊社最新カタログ及びホームページ(<http://www.alpine.co.jp/>)にてご確認ください。

車種	年式	型式
プリウス (マイナーチェンジ後)	H23/12～H27/12	ZVW30
プリウス 特別仕様車 “マイコーデ”	H24/10～H27/12	ZVW30
プリウス PHV	H24/1～H27/12	ZVW35
プリウス G's	H23/12～H27/12	ZVW30

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

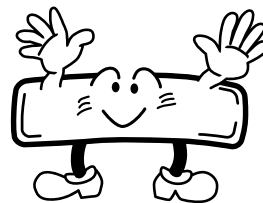
※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

1. はじめに

- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

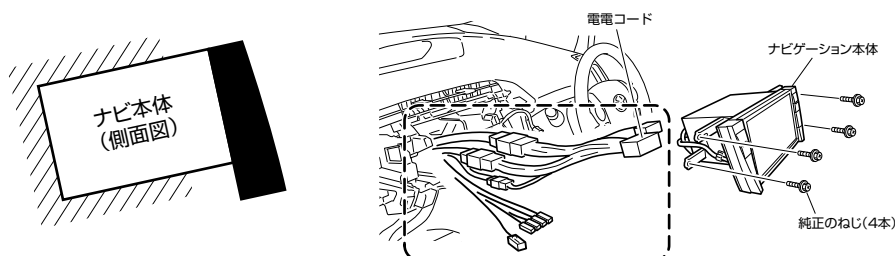
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。
白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
ディスクやSDカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



⚠ 注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

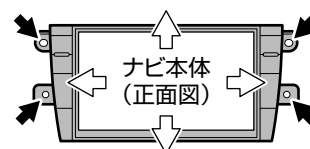
■配線の挟み込み/配線の処理について

- ナビ本体の上側/背面/下側(斜線エリア)に配線を挟みこまないように注意してください。
- ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめず分散して取り付けてください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

- ナビ本体の固定位置を調整し、
- ☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
 - ☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った使用をした場合に生じる危害・損害の程度の説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の説明

 強制	必ず実行していただく強制の内容を示しています。	 注意	注意(警告を含む)しなければならない内容を示しています。
 禁止	禁止(してはいけないこと)を示しています。		

警告

 強制	DC12Vマイナスアース車専用です 24V車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。 取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する 取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。 説明書に従って、取り付け・配線をする 作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。 配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする 感電・ケガの原因になります。 コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。 コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。 安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する 交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。 ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守る 事故・火災・故障の原因になります。	 強制	電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する 誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。 フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける 視界不良による事故の原因になります。 取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する 正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。 分解・改造をしない 特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。 視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない 事故・ケガの原因になります。 取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない 制動不能・火災の原因になります。 助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。 車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない 事故・火災の原因になります。
		 禁止	
		 禁止	

注意

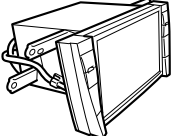
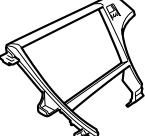
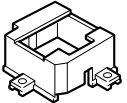
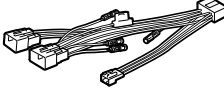
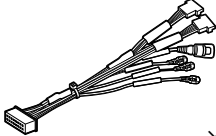
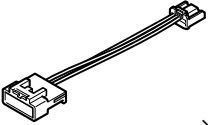
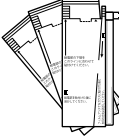
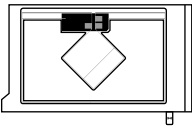
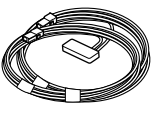
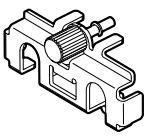
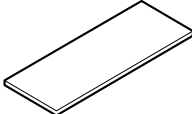
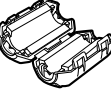
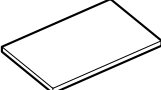
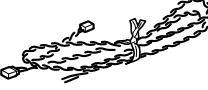
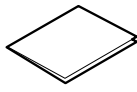
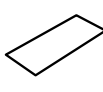
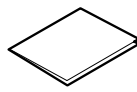
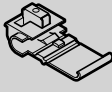
 強制	車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける ネジが緩み、事故・故障の原因になります。 コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないよう配線する 断線やショートにより、感電・火災の原因になります。 付属部品を指定通りに使い、確実に固定する 付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れたりして運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。	 禁止	コード類は絶対に途中で切断しない コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因になります。 コード類の配線は、車体の高温部に接触させない 火災や感電の原因になります。 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない 火災・故障の原因になります。 通風孔・放熱板をふさがない 火災・故障の原因になります。
--	--	---	--

構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■ナビゲーションユニット (EX9Z)

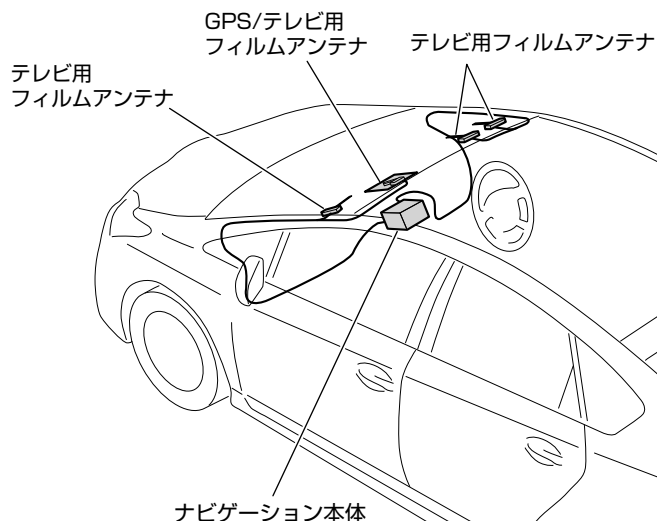
部の部品は使用しません。

ナビゲーション本体	専用パネル	スイッチホルダー式	電源コード	外部出力コード
 ×1	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
カメラコード	ステアリングリモートケーブル	テレビ用フィルムアンテナ	GPS/テレビ用フィルムアンテナ	テレビ用アンテナコード(4m) (コード番号1124)
 ×1	 ×1	 ×3	 ×1	 ×3
GPS/テレビ用アンテナコード(4m) (コード番号3)	クリーナー	クランプ	HDMI固定ブラケット	クッションテープ(75mm×250mm)
 ×1	 ×1	 ×6 必要に応じてご使用ください	 ×1	 ×1
SDカード (録音用)	B-CASカード	フェライトコア	フェライトコア保護用スポンジ	CAN接続ケーブル
 ×1 本機に挿入済みです	 ×1	 ×2	 ×1	 ×1
エレクトロタップ	説明書	保証書	取付説明書一式	圧着コネクター
 ×2	 ×1	 ×1	 ×1	 ×1

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10mm レンチ、マスキングテープ

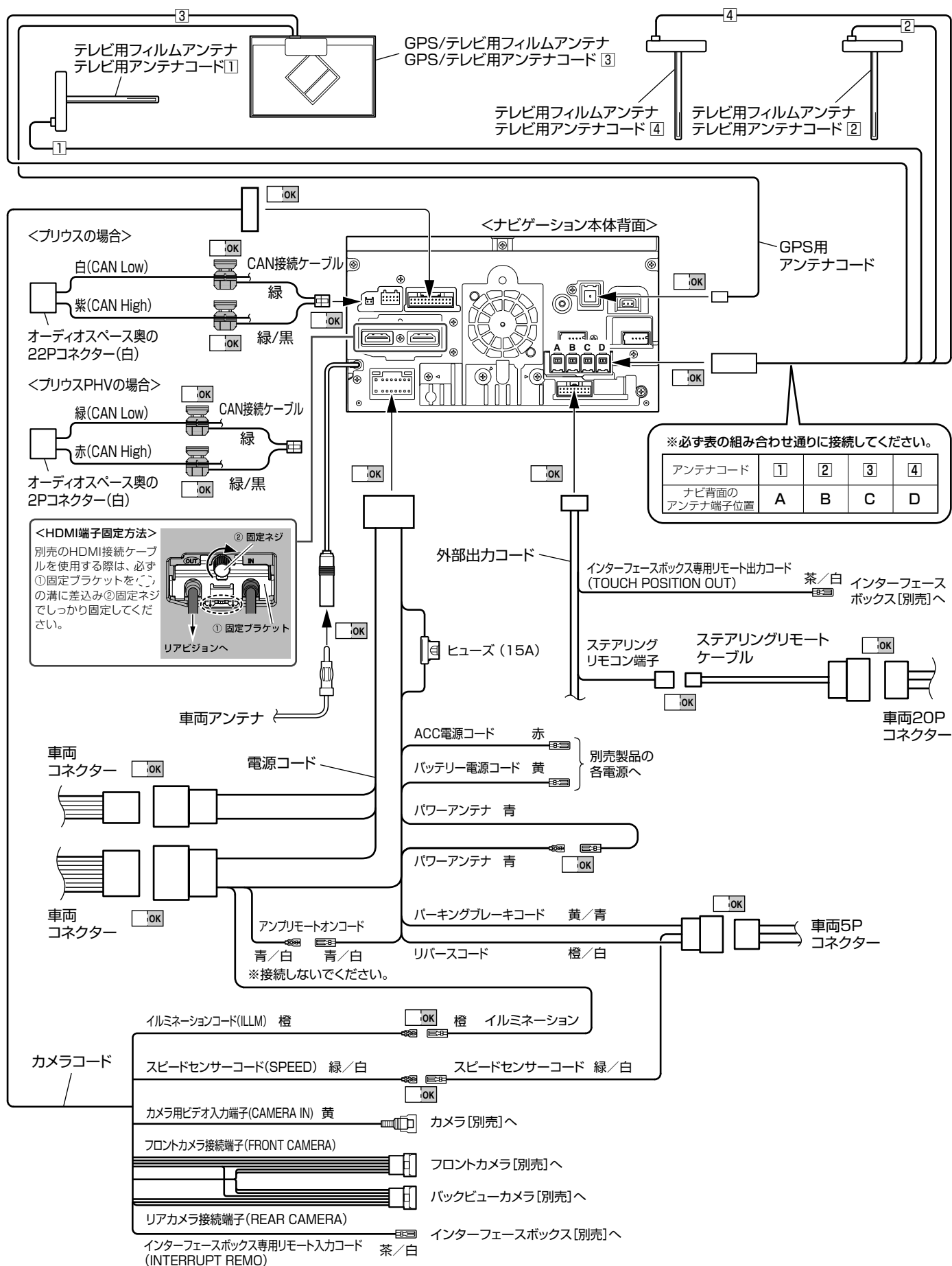
取付概要



※図は製品を取り付けた取付概要図になります。

2. 基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続するごとに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)

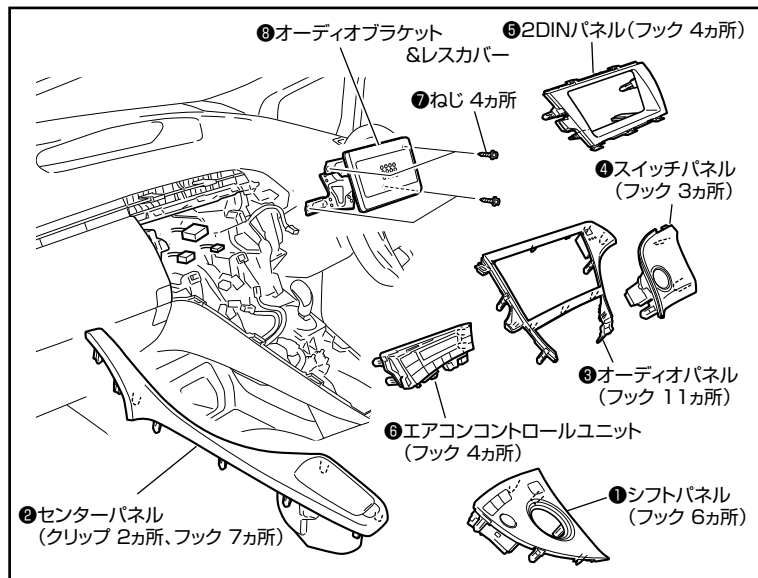


※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

3. 取付要領

※作業を始める前にバッテリーのマイナス側ケーブルを外してください。

1. 車両部品の取り外し



■インパネ周り

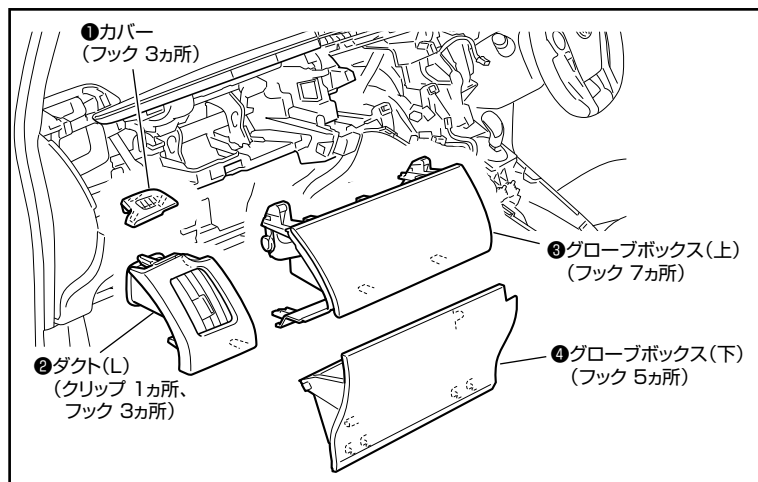
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■グローブボックス周り

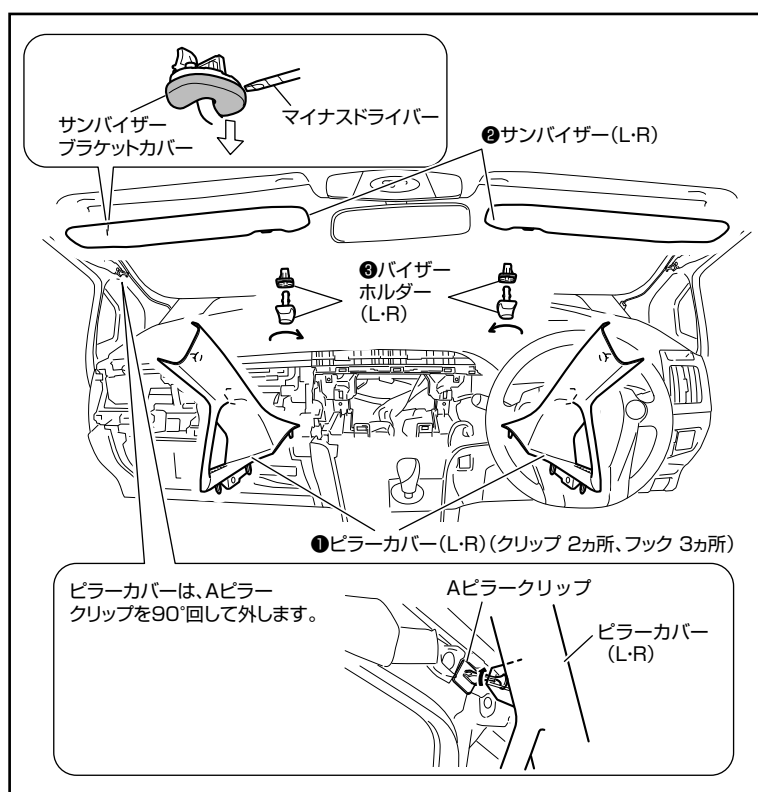
1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。



キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。



各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。



■ピラー周り

1. 左図を参照して内装部品を外します。番号順に取り外してください。

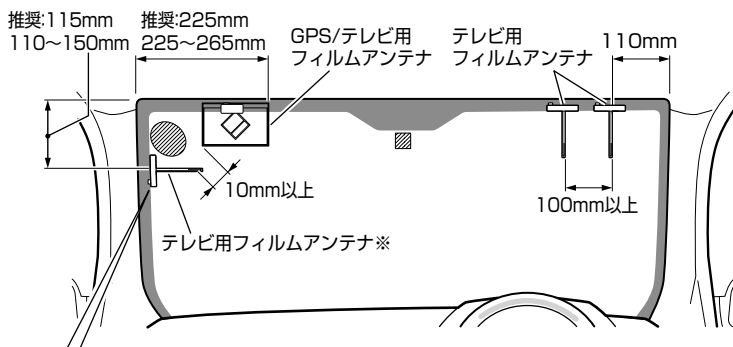


●キズ防止のため、要所をマスキングテープなどで保護してください。
●ねじの紛失にご注意ください。



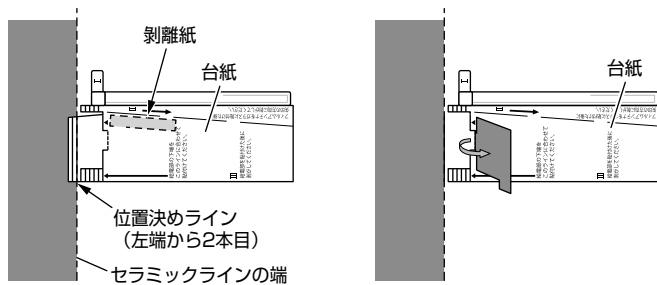
各ガーニッシュ取り外しには、クリップはずしを使用します。

2. フィルムアンテナの取り付け



※左側面は貼付位置が異なりますので、以下の手順で貼り付けてください。

- 1) 台紙の文字面裏の剥離紙をはがし、位置決めラインとセラミックラインの端を合わせて仮止めします。
- 2) 台紙の左側を下図のように手前に折り曲げます。



以降の作業はナビゲーションユニットの取付説明書を参照してください。

■フィルムアンテナの取り付け

1. フィルムアンテナをフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。貼付方法の詳細は、11ページ「フィルムアンテナの貼付方法」を参照してください。



注意

- クリーナーを使用して貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に除去してから貼り付けてください。
- 図の斜線部分の定期点検ステッカー・検査標章部には貼り付けしないでください。
- フィルムアンテナは、必ず指定の場所に貼り付けてください。

2. 接続図を参照して各アンテナコードの給電端子を取り付けます。



注意

地デジ受信性能をより向上させるために、必ず決められた位置に取り付けてください。

3. アンテナコードを左図の位置を通してオーディオ取付部まで配線します。



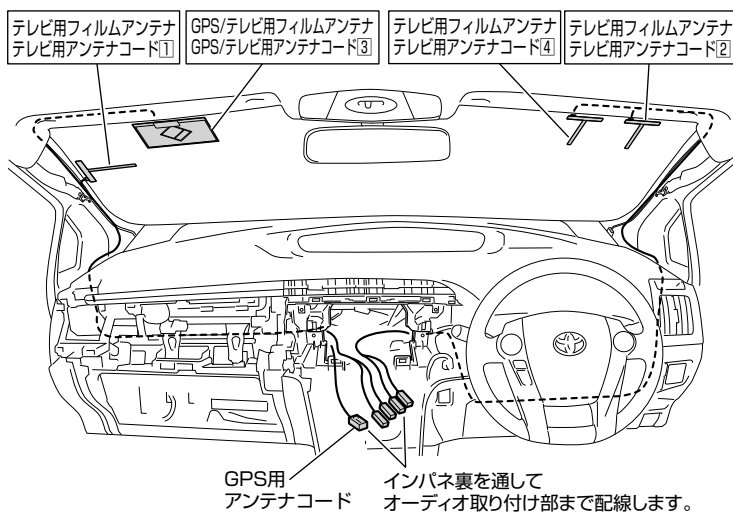
注意

カーテンエアバッグに干渉しないように配線してください。

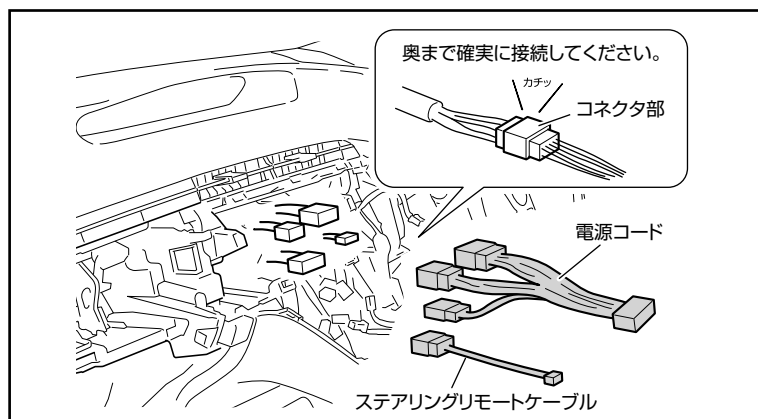


Memo

- 同じ位置に配線するユニットをすべて取り付けてから、配線を固定してください。
- アンテナの配線余長を束ねる場合は、ナビゲーション裏を避けて束ねてください。



3. 各コードの接続

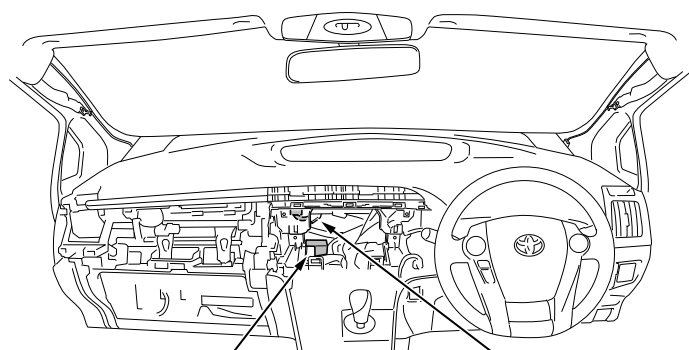


■電源コードの接続

1. 接続図を参照し、オーディオ取付スペースの10P、6P、5Pの各コネクタに電源コードを接続します。

■ステアリングリモートケーブルの接続

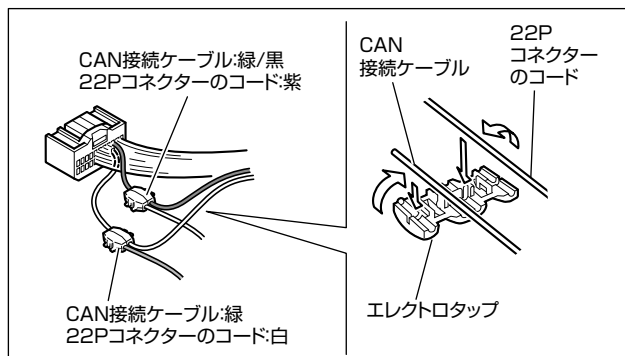
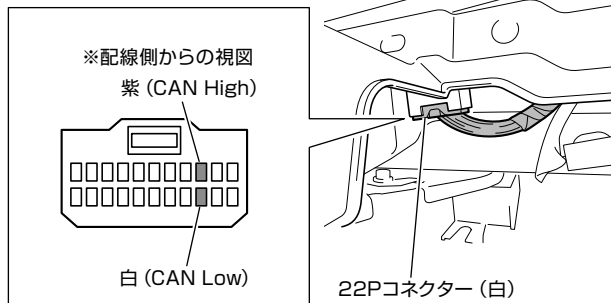
1. 接続図を参照し、オーディオ取付スペースの20Pコネクタにステアリングリモートケーブルを接続します。



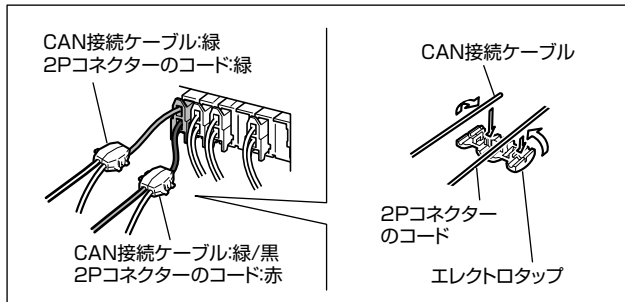
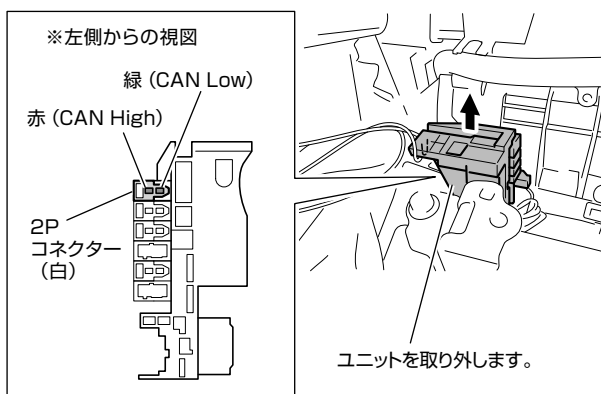
<プリウスPHVの場合>

<プリウスの場合>

<プリウスの場合>



<プリウスPHVの場合>



■CAN接続ケーブルの接続

(ステアリング連動バックビューガイド線を使用する場合)

- オーディオスペース奥の22Pコネクタ (白)、または2Pコネクタ (白) のCAN信号線に、CAN接続ケーブルをエレクトロタップで接続します。

<プリウスの場合>

	CAN 接続ケーブル	22P コネクタ
CAN High	緑 / 黒	紫
CAN Low	緑	白

<プリウスPHVの場合>

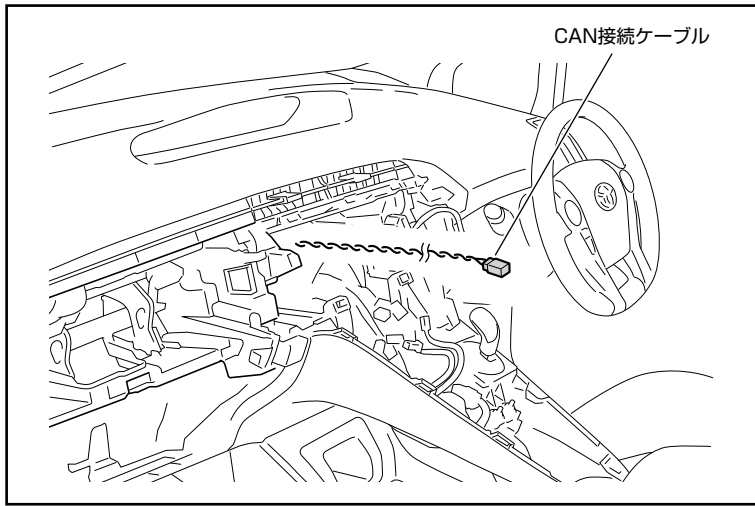
	CAN 接続ケーブル	2P コネクタ
CAN High	緑 / 黒	赤
CAN Low	緑	緑

⚠ 注意

- エレクトロタップはプライヤーで確実に圧着してください。
- 車両配線を断線させないようにご注意ください。
- 本説明書指定の取付け方法・取付け位置に正しく取付けなかった場合、車両の走行・動作に支障をきたすおそれがございます。間違えないように確実に取付けを行ってください。

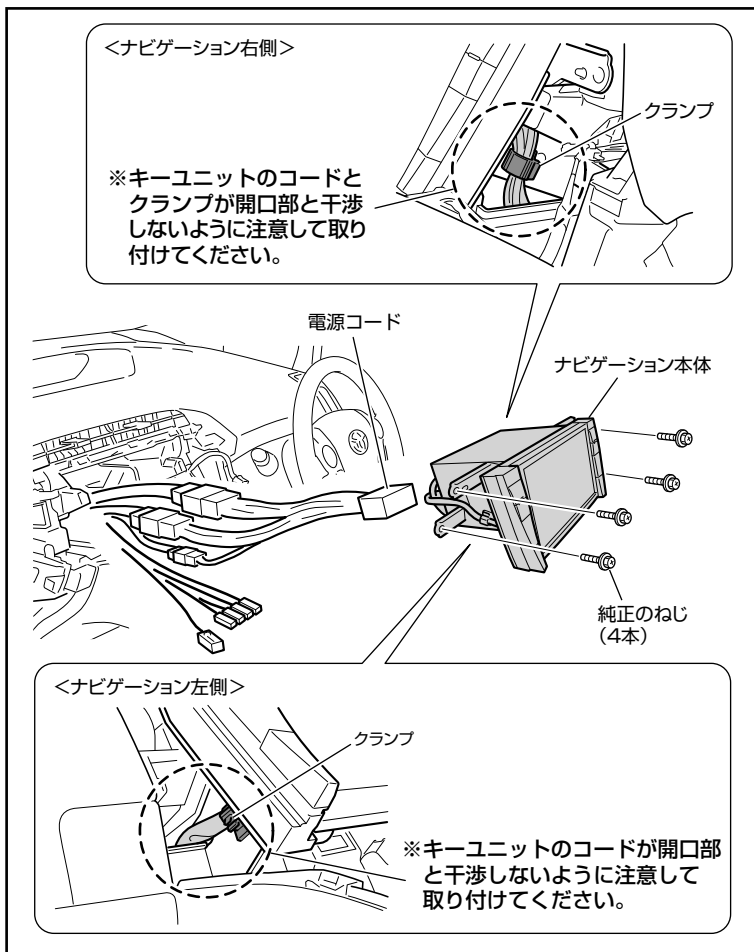
⚠ 注意

2Pコネクタの位置が左図と異なる場合には指定の配線色の2Pコネクタへ接続してください。



2. CAN接続ケーブルをオーディオ取付部から引き出します。

4. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 接続図を参照して配線を接続します。



注意

「バックグラウンドサーチ」機能が正常に働くように、ナビゲーションのアンテナ端子は必ず下記の組み合わせ通りに接続してください。

アンテナコード	1	2	3	4
ナビ背面のアンテナ端子位置	A	B	C	D

2. ナビゲーション本体をオーディオ取付スペースに取り付けます。

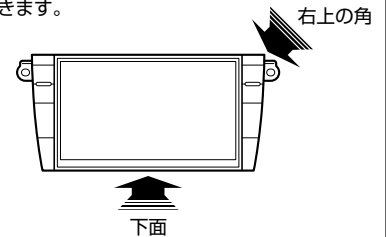


注意

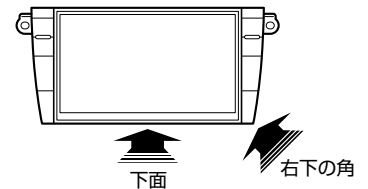
●ナビゲーション本体は下記の順に持って取り付けてください。

※キーユニットだけを持たないようにしてください。

- ① 右上の角と下面を持って開口部にいったん置きます。

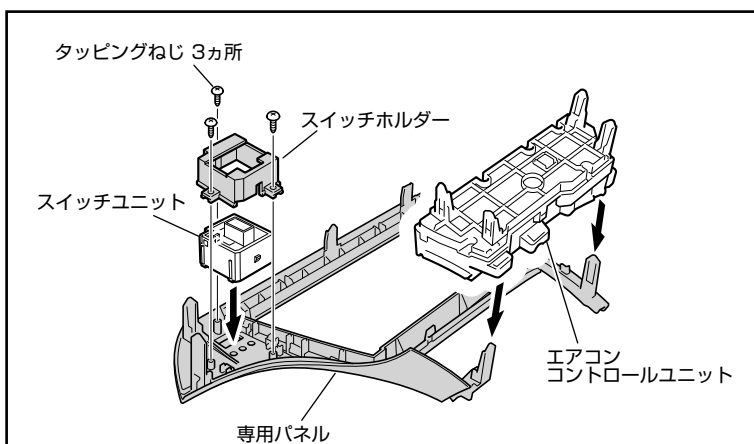


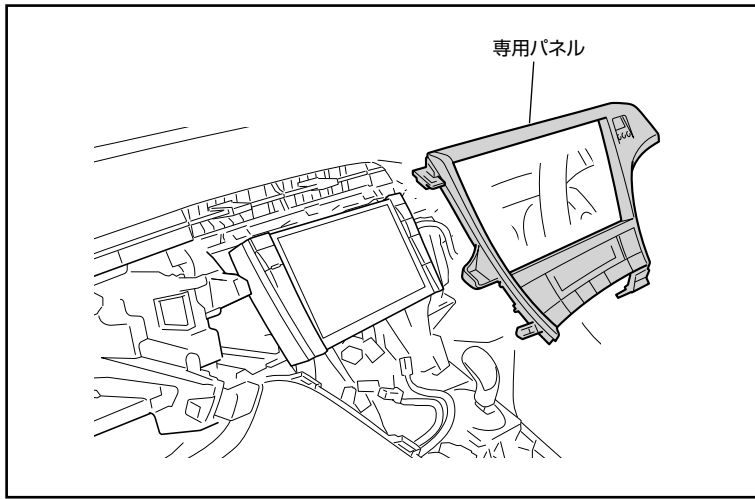
- ② 右下の角と下面を持って固定位置に設置します。



●ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

3. 純正のオーディオパネルにあるスイッチユニットを取り外し、専用パネルに取り付けます。
4. エアコンコントロールユニットを専用パネルに取り付けます。

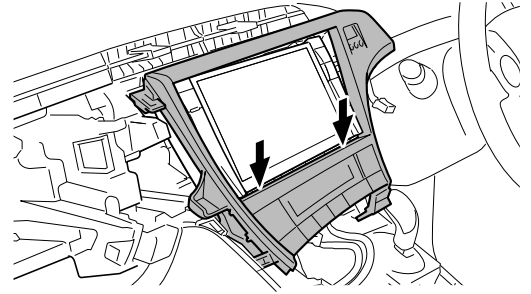




5. 専用パネルを取り付けます。

キーユニットに干渉しないようにパネル開口部の下側を下げながら取り付けてください。

※クリップが車両側の穴に入っていることを確認してください。



取り付けが終わったら、17 ページ以降を参照してクイックセットアップ、接続確認を行ってください。

※本製品は車種専用以下設定をチューニング済みとなっております。

組み合わせるオプション製品（カメラなど）によって設定を変更する場合は 20 ページの手順にて設定を行ってください。

【チューニング済みの項目】

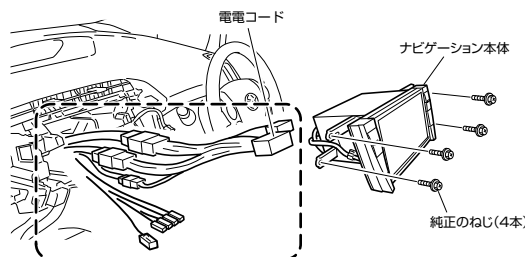
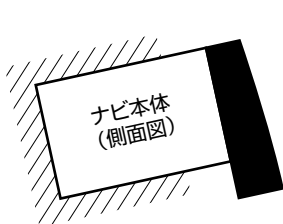
- ・車種専用オープニング画面
- ・車種専用サウンド（音響空間の設定）
- ・カメラガイド線
- ・車両情報（車種・サイズ）等

⚠ 注意 ナビ本体取り付け時に以下の点に注意してください。

■配線の挟み込み/配線の処理について

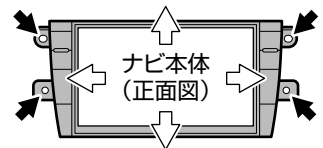
●ナビ本体の上側/背面/下側（斜線エリア）に配線を挟みこまないように注意してください。

●ナビ本体を固定する際、無理に押し込まずに固定してください。
※ナビ本体裏側の配線は必要以上にまとめず分散して取り付けください。ビニールテープ等でまとめ過ぎるとナビ本体が正しい位置に固定できない場合があります。



■ナビ本体の固定について

ナビ本体の固定位置を調整し、
☐ ナビノーズとパネルのクリアランスが適正である事
☐ ノーズ開閉時に上下が接触しない事を確認してください。



5. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意 ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。



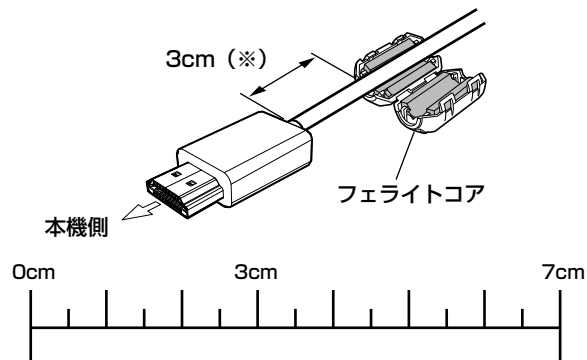
注意 バッテリーのマイナス端子を接続する際にステアリングが0時の位置に合っていることを必ずご確認ください。

2. 「5. 接続状態を知る」を参照し、接続状況を確認します。

フェライトコアの装着方法

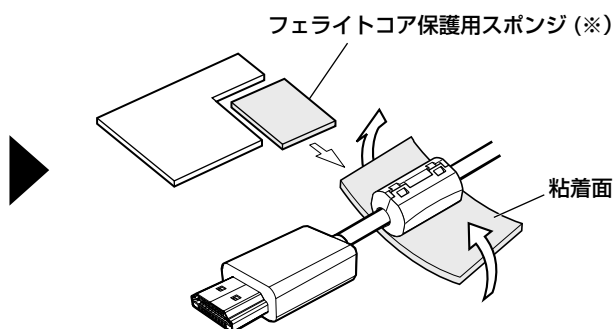
HDMI対応機器を接続する際は、HDMIケーブルにあらかじめフェライトコアを装着してから付属のHDMI固定ブラケットを取り付けてください。

HDMIコネクタ（本機側）から3cmのところに装着する。



※ 取り付けに支障が生じる場合は、7cm以内に装着してください。

フェライトコア保護用スポンジを適度な大きさに切り取り、保護シートを剥がして粘着面を内側にしフェライトコアに巻き付ける。



※ HDMI固定ブラケットの取り付けが困難になる場合があるため、HDMIコネクタ側へはみ出さないよう注意して巻き付けてください。

フィルムアンテナの取り付け方法

フィルムアンテナを取り付ける前に

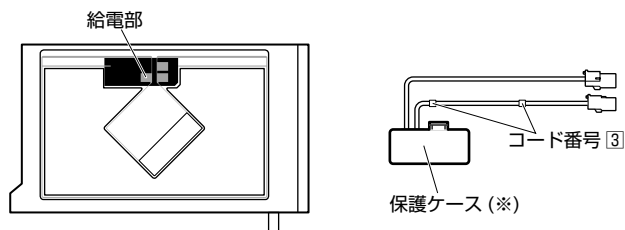
< フィルムアンテナの取り扱いについて >

- ・透明フィルムや保護フィルムをはがすときはフィルムアンテナを強く曲げないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- ・透明フィルムや保護フィルムは急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- ・透明フィルムや保護フィルムをはがした後は、アンテナに直接触れたり、物を当てたりしないでください。油脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

< フィルムアンテナの貼り付け面とアンテナコード番号を確認する >

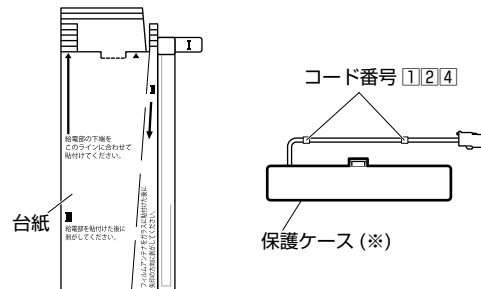
■GPS/ テレビ用フィルムアンテナとコード

給電部が見える面が車内側です。



■テレビ用フィルムアンテナとコード

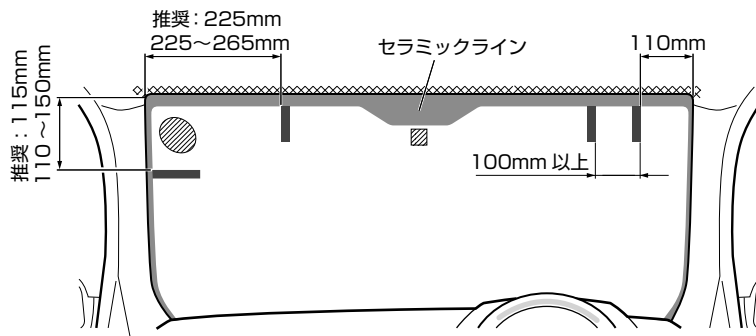
台紙に文字が印刷されている面が車内側です。



※ 保護ケースは、給電端子保護のため実際にアンプを取り付ける手順3までは外さないでください。

< アンテナの貼り付け位置を決める >

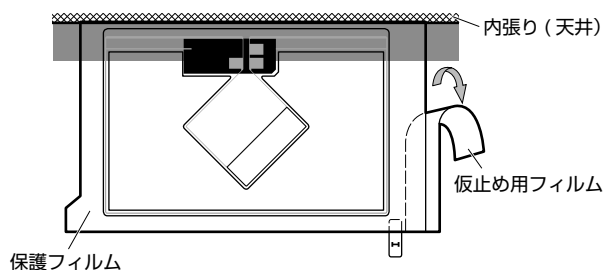
下図を参考に、セロハンテープなどで車外から位置決めテープを貼り付けてください。



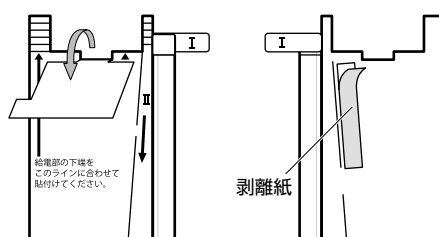
1 フィルムアンテナを取り付ける

- ・フロントウィンドウの汚れ（ごみ・油等）やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとってください。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
- ・水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- ・フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- ・冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。

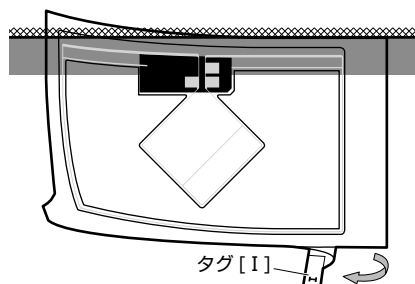
1) 仮止め用フィルムを剥がし、保護フィルム上部を内張り(天井)の端に合わせ仮止めする。



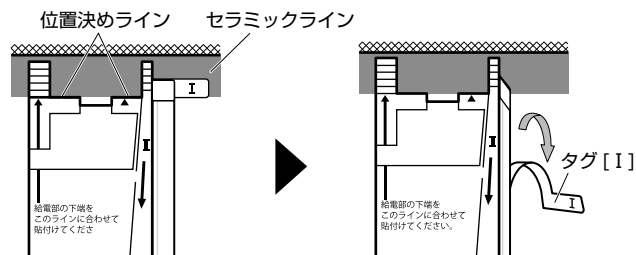
1) 台紙の上側を下図のように手前に折り曲げ、文字面裏の剥離紙をはがす。



- 2) フィルムアンテナタグ[I]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナを貼り付ける。



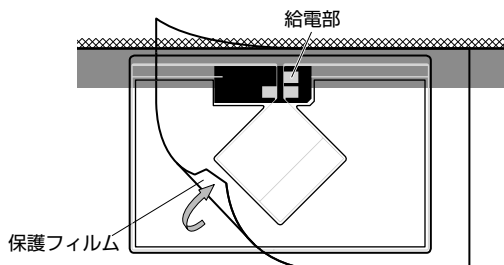
- 2) 台紙の位置決めラインとセラミックラインの端を合わせ、フィルムアンテナがセラミックラインに対し垂直になるよう仮止めし、タグ[I]の透明フィルムをゆっくりはがして、フィルムアンテナを貼り付ける。



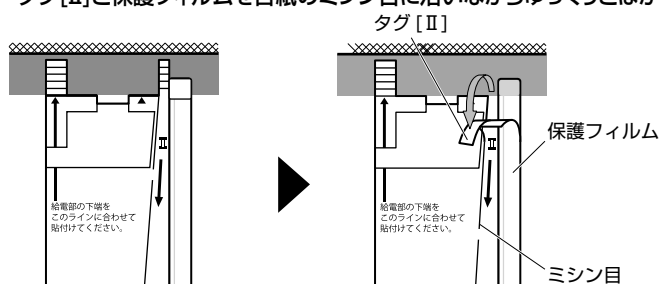
- 3) アンテナをしっかりガラスに密着させる。

- フィルムの上からアンテナ線を中心に指で強く押す。(困難な場合は、樹脂ヘラを使用)
- 給電部は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。
- 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。
- 一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

- 4) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、保護フィルムを左端からゆっくりとはがす。



- 4) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、タグ[II]と保護フィルムを台紙のミシン目に沿いながらゆっくりとはがす。



- 保護フィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、保護フィルムを一度もとに戻しアンテナ線を中心に強く押して定着させてから再度はがしてください。

- 5) アンテナを柔らかい布等で上から押さえつける。

- アンテナの上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電部には、直接手で触れないでください。皮脂等の汚れが付着すると給電部が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

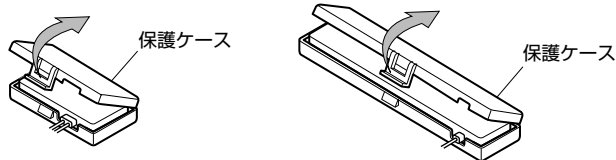
2 コードを配線する

- 1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナコードを配線する。

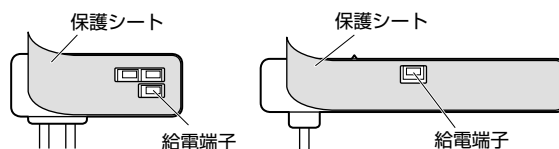
- アンブ本体の保護ケースは外さないでください。
- 実際に配線する前に、アンテナコードの番号と「フィルムアンテナの取り付け」で指定されたフィルムアンテナの位置を確認し、セロハンテープ等で仮止めします。アンテナコードのアンブ給電端子の先端部が、フィルムアンテナに届くように調整してください。

3 アンブをフィルムアンテナに取り付ける

- 1) アンブの保護ケースを取り外す。



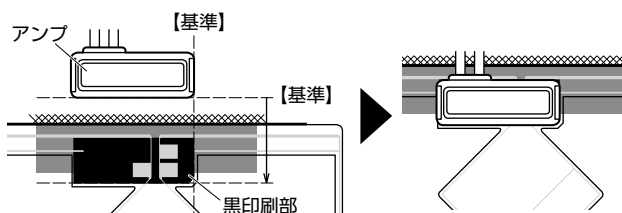
- 2) アンブ裏面(給電端子面)の保護シートをはがす。



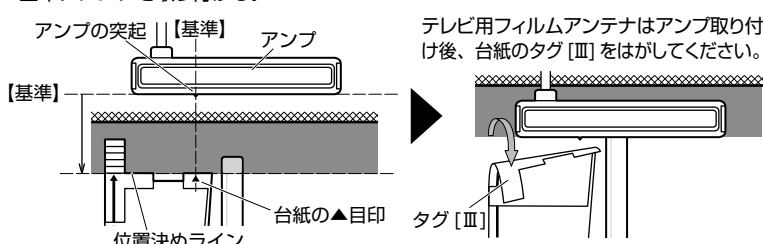
- 3) アンブをフィルムアンテナに取り付ける。

- 給電端子は正しい位置に取り付けてください(端子のズレや浮き等の原因になり、本機の性能が発揮できません)。

アンブの右端と下側を基準にフィルムアンテナ黒印刷部にアンブを取り付ける。



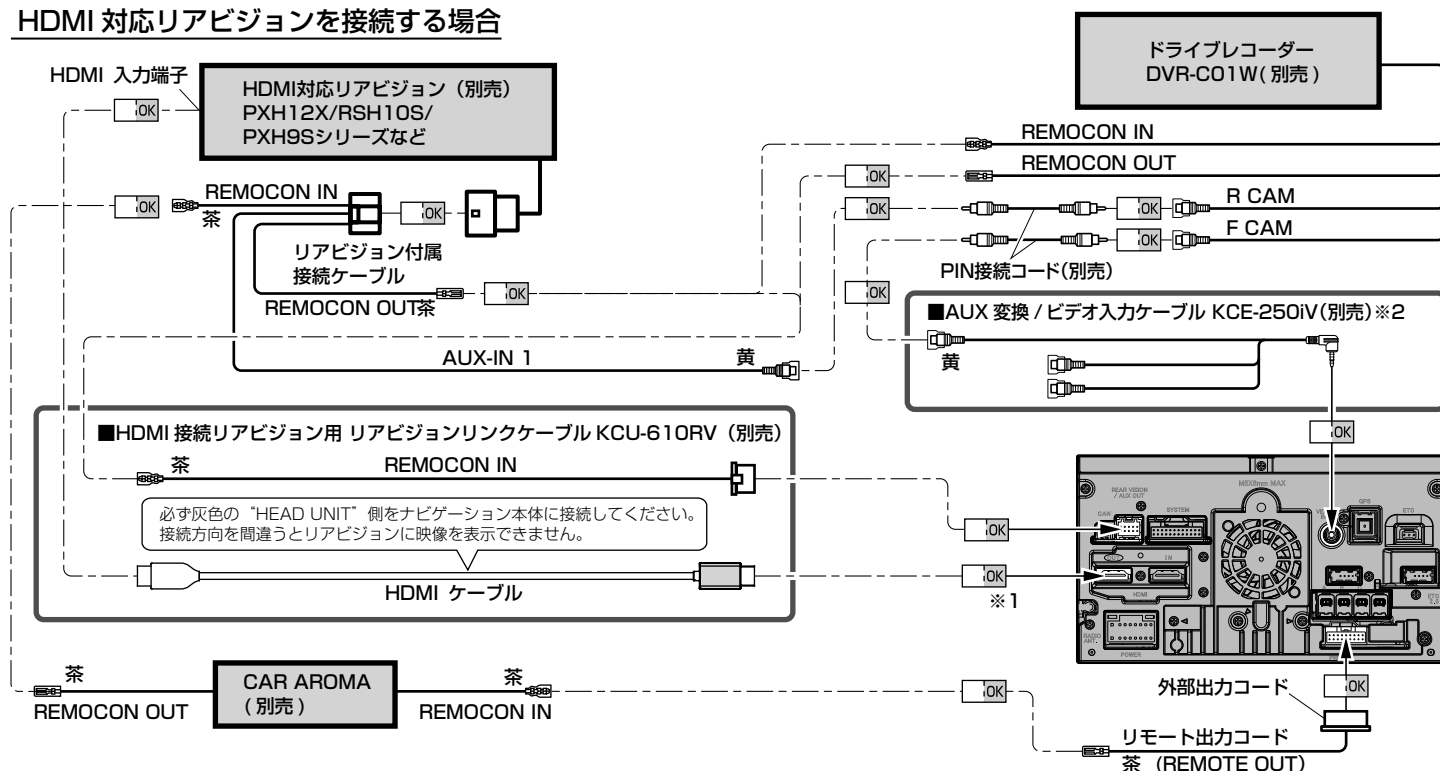
アンブの突起と台紙の▲目印、およびアンブの下端と台紙の位置決めラインを基準にアンブを取り付ける。



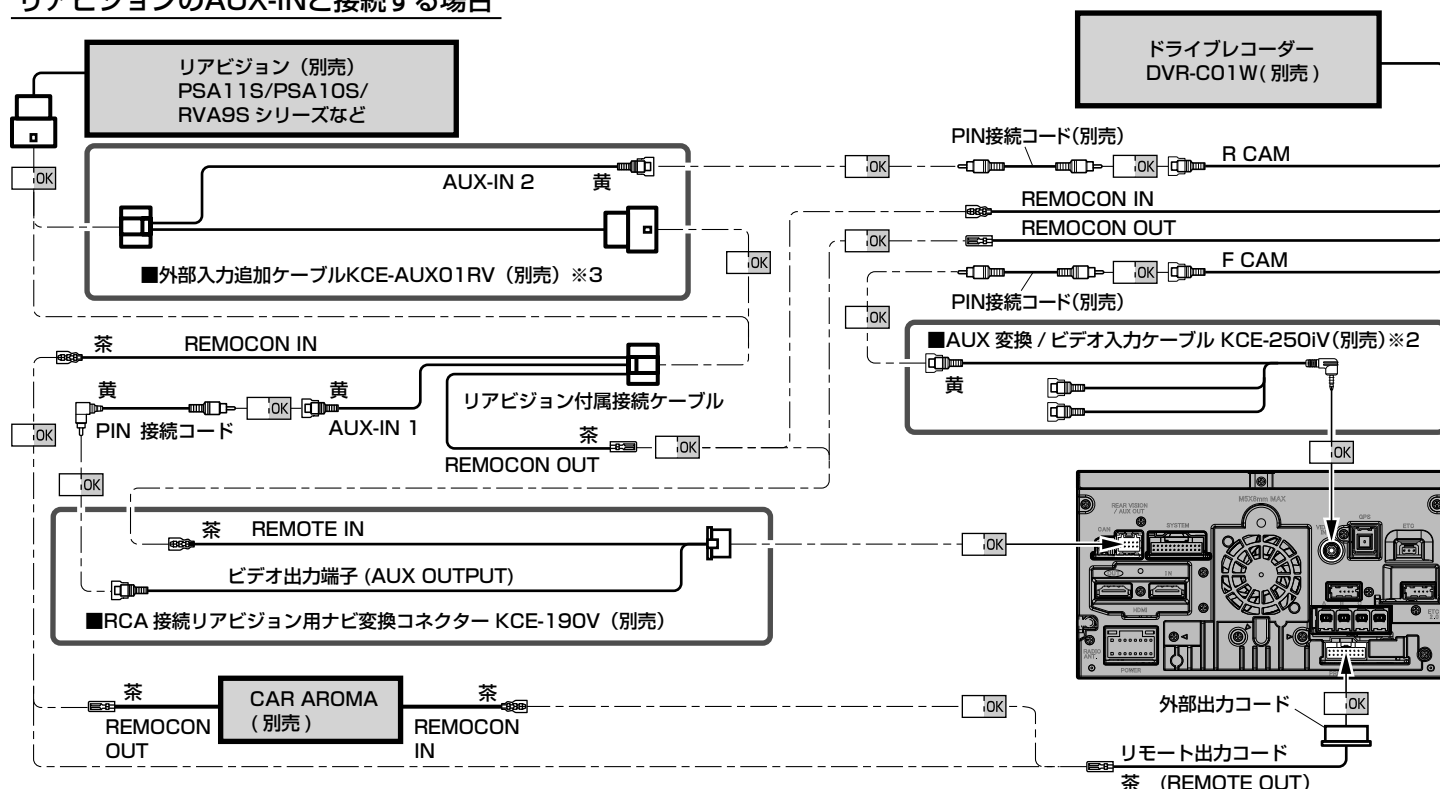
テレビ用フィルムアンテナはアンブ取り付け後、台紙のタグ [III] をはがしてください。

リアビジョンとカーアロマ/ドライブレコーダーを接続する

HDMI 対応リアビジョンを接続する場合



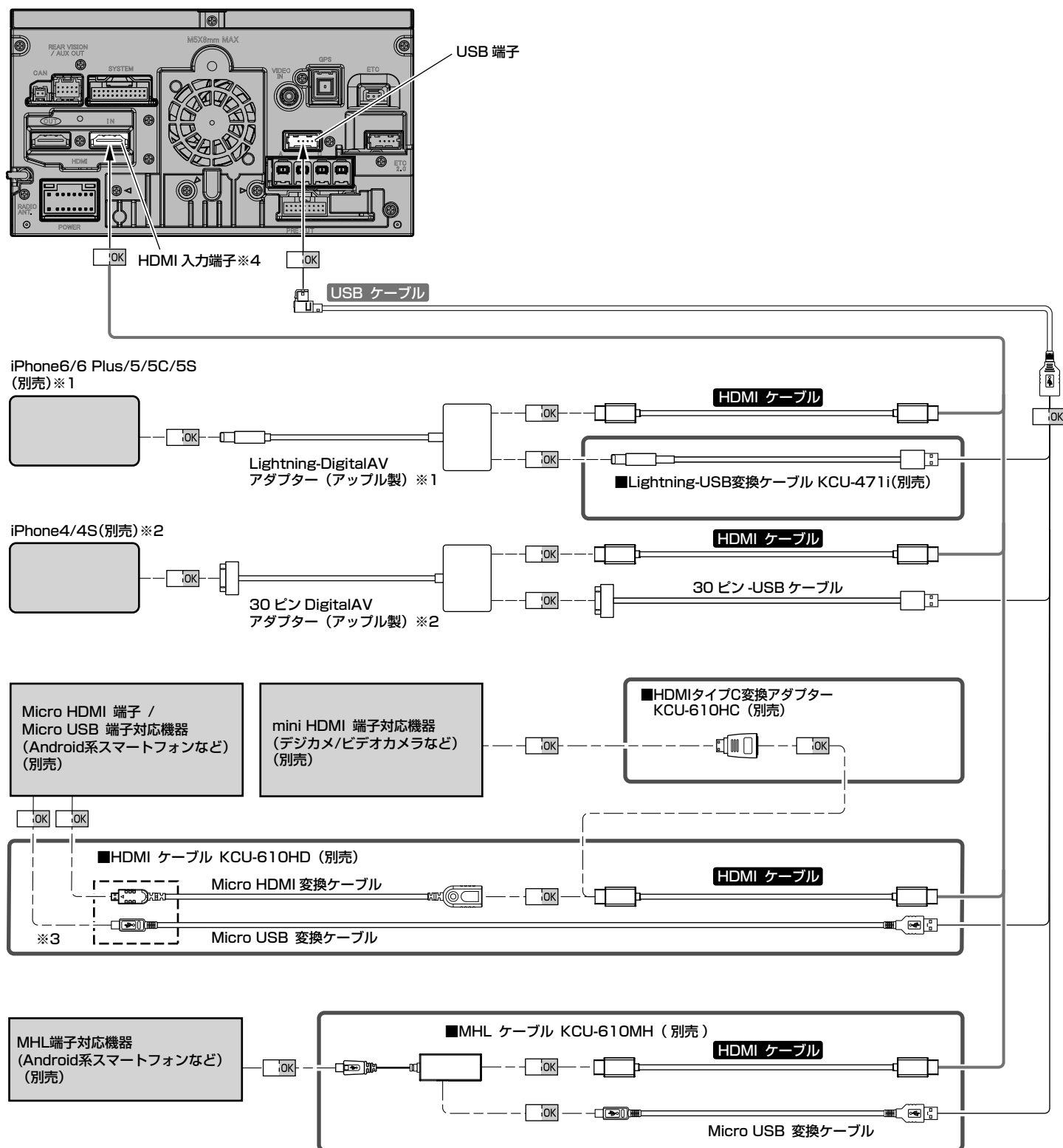
リアビジョンのAUX-INと接続する場合



- ・リアビジョン側のシステム設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、必ず[ナビ]に設定してください。
- ・カーアロマとリアビジョンを接続する場合は、カーアロマに対応したリアビジョンが必要です。 リアビジョンを接続しない場合は「ETC2.0/ETC車載器/外部機器/カーアロマを接続する」を参照してください。
- ・リアビジョンとカーアロマ、ドライブレコーダーを同時接続する場合は、必ず下記の接続例に沿って接続をしてください。
(REMOCON線の接続順序を間違えると、製品が正常に動作しません)

- ※1 HDMI 接続ケーブルを接続する際は、付属のフェライトコアの取り付け、および HDMI 固定ブラケットによる固定を必ず行ってください。
詳しくは基本接続図、およびフェライトコアの装着方法を参照してください。
- ※2 ドライブレコーダーの映像を本機に映す場合は、別売の KCE-250IV がが必要です。
- ※3 ドライブレコーダーの映像をリアビジョン (AUX-IN 接続時) に映す場合は、別売の KCE-AUX01RV がが必要です。

iPhone やスマートフォンなどをHDMI 接続する

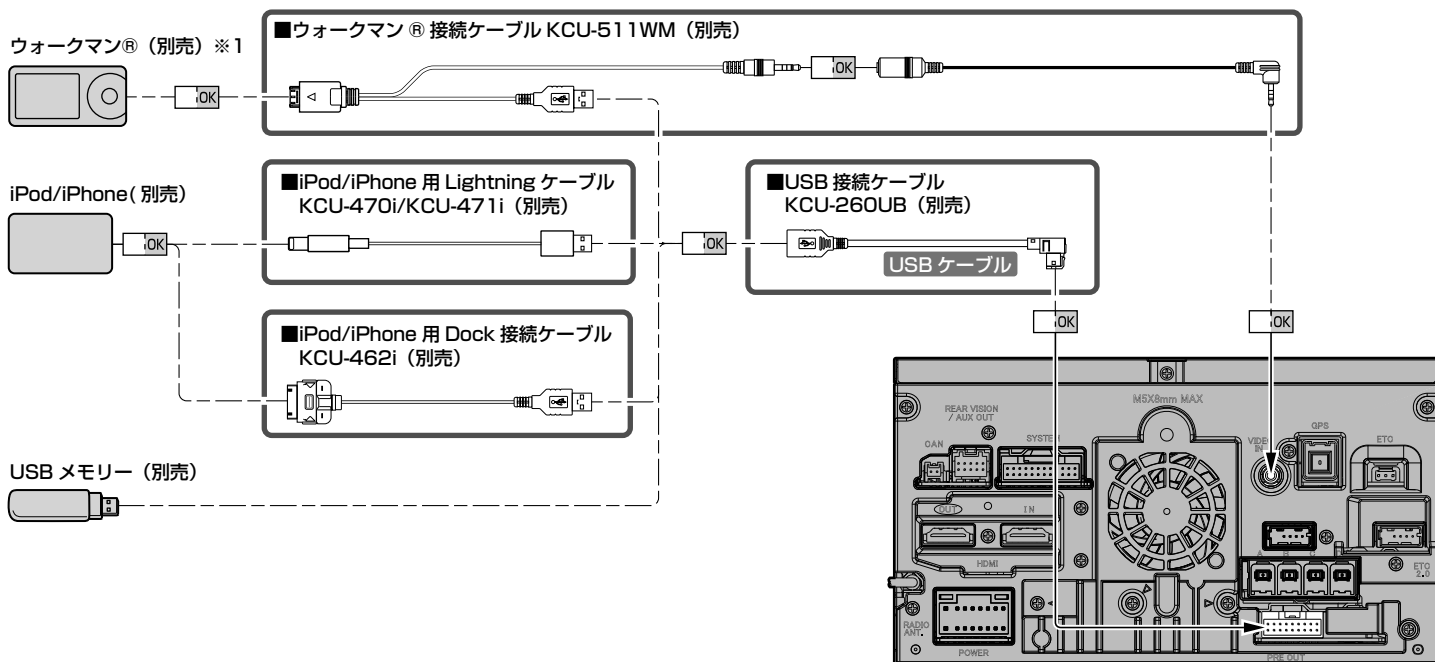


<HDMI 対応機器について>

- ・複数の HDMI 対応機器を同時に接続することはできません。
- ・iPhone やスマートフォンなどは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- ・本機へ HDMI 対象機器 (スマートフォンやビデオカメラなど) を接続する場合は、それぞれ HDMI 端子タイプに対応した別売の接続ケーブル (KCU-610HD/ KCU-610MH/ KCU-610HC) が必要です。別売の接続ケーブルには **USB ケーブル** または **HDMI ケーブル** が付属されており、それぞれ共通で使用できます。いずれかの **USB ケーブル** または **HDMI ケーブル** を使用し、HDMI 対象機器を差しかえて使用することができます。

- ※1 iPhone6/6 Plus/5/5C/5SをHDMI 接続する場合は、Lightning-DigitalAVアダプター (アップル製) が必要です。
- ※2 iPhone4/4S をHDMI 接続する場合は、30 ピンDigitalAV アダプターと30 ピン-USB ケーブル (アップル製) が必要です。
- ※3 接続する機器によっては同時接続できない場合があります。
- ※4 HDMI接続ケーブルを接続する際は、付属のフェライトコアの取り付け、およびHDMI固定ブラケットによる固定を必ず行ってください。詳しくは表面の「HDMIケーブル接続時の注意」を参照してください。

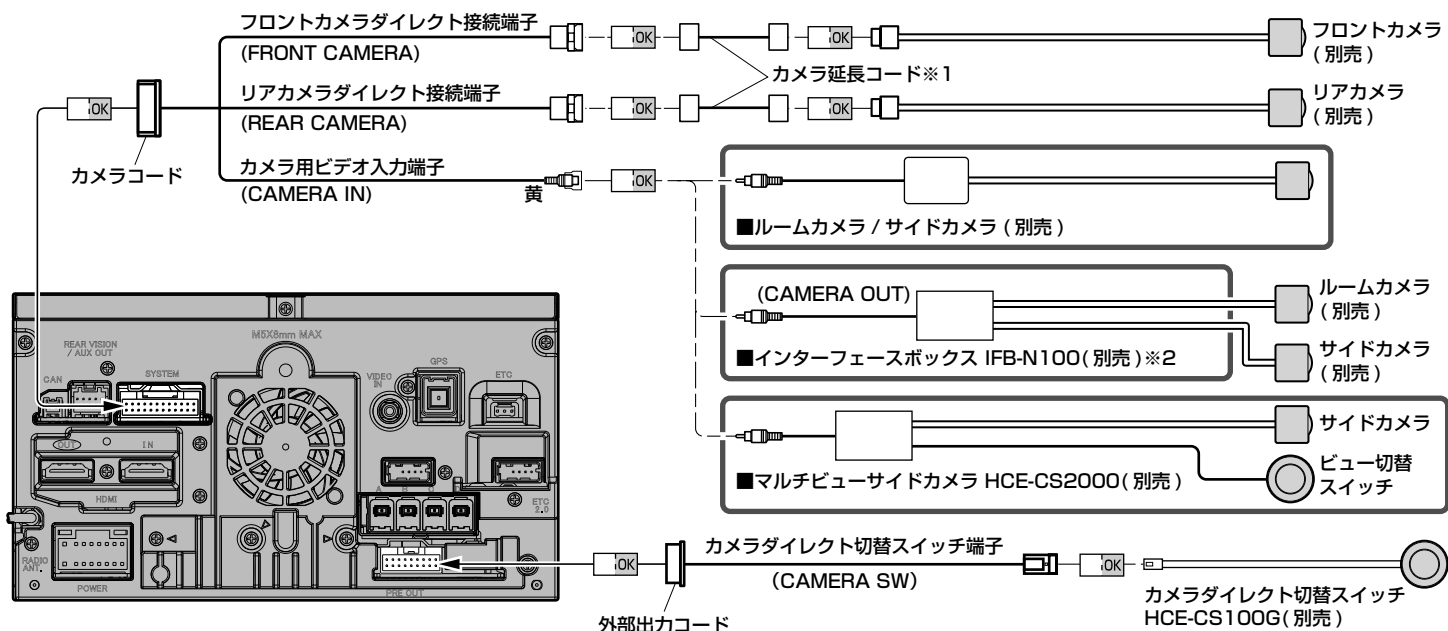
iPod/iPhone/ウォークマン/USBメモリーを接続する



- ・iPod/iPhone、ウォークマン® やUSB メモリーは車の中に放置したままにしないでください。車室内の熱による故障の原因になります。
- ・KCU-470i/KCU-511WM /KCU-462iに付属の「USBケーブル」は、それぞれ共通で使用できます。いずれかのUSB ケーブルを使用し、接続機器を差しかえて使用することができます。KCU-471iは別途 USB ケーブルが必要です。
- ・iPod/iPhone とウォークマン® またはUSB メモリーを同時接続することはできません。

※1 本機へウォークマン® を接続する際は、必ずウォークマン® 本体の設定を行ってください。
詳しくは取扱説明書「ウォークマン® をつないで使う」を参照してください。(接続するウォークマン® の機種により操作方法が異なる場合があります。)
またウォークマン® の機種がビデオ出力非対応の場合には、音声のみでご使用ください。

カメラを接続する



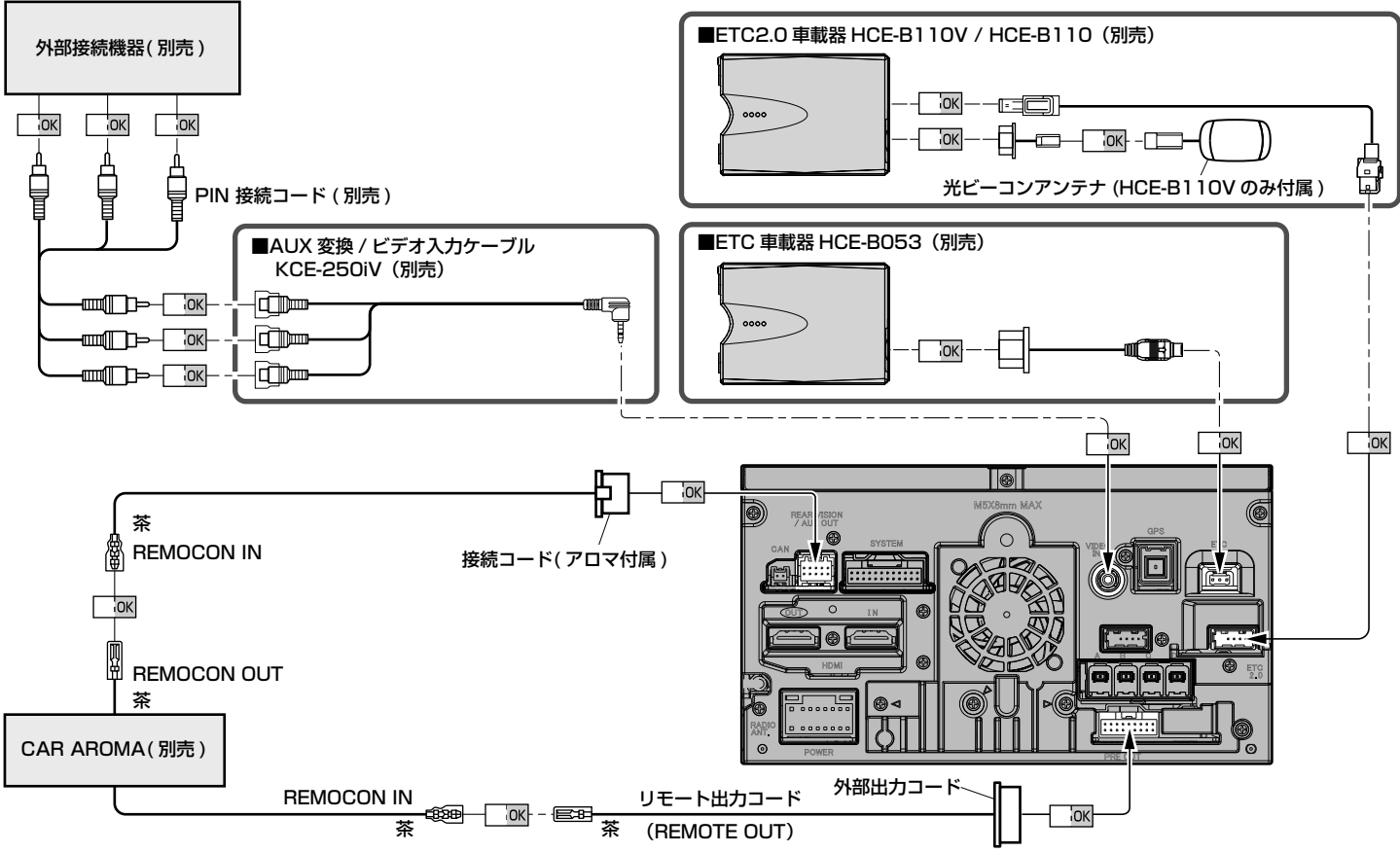
<カメラ接続時の注意>

- ・リアカメラを、リアカメラダイレクト接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
- ・カメラ用ビデオ入力端子に汎用カメラを接続する場合はナビゲーション側で設定が必要です。詳しくは取扱説明書を参照してください。
- ・トヨタ純正リアカメラ装着車(ナビレディパッケージ等)は、別売の変換ケーブル(KWX-Y300NR)、ホンダ純正リアカメラ装着車(ナビ装着スペシャルパッケージ)は、別売の変換ケーブル(HCE-C03VCまたはKWX-H001ST)をリアカメラ接続端子に接続してください。(純正カメラのタイプにより使用する変換ケーブル・アダプタが異なります)

※1 接続するカメラ及び車種によっては、別売のダイレクトカメラ接続ケーブル (KWX-G001 または車種専用ダイレクトケーブル) が必要な場合があります。詳しくは取り付けるカメラの取付説明書をご覧ください。

※2 インターフェイスボックス (IFB-N100) (別売) を接続する場合は、本機カメラコードの「インターフェイスボックス専用リモート入力端子」と外部出力コードの「インターフェイスボックス専用リモート出力端子」をインターフェイスボックスに接続してください。

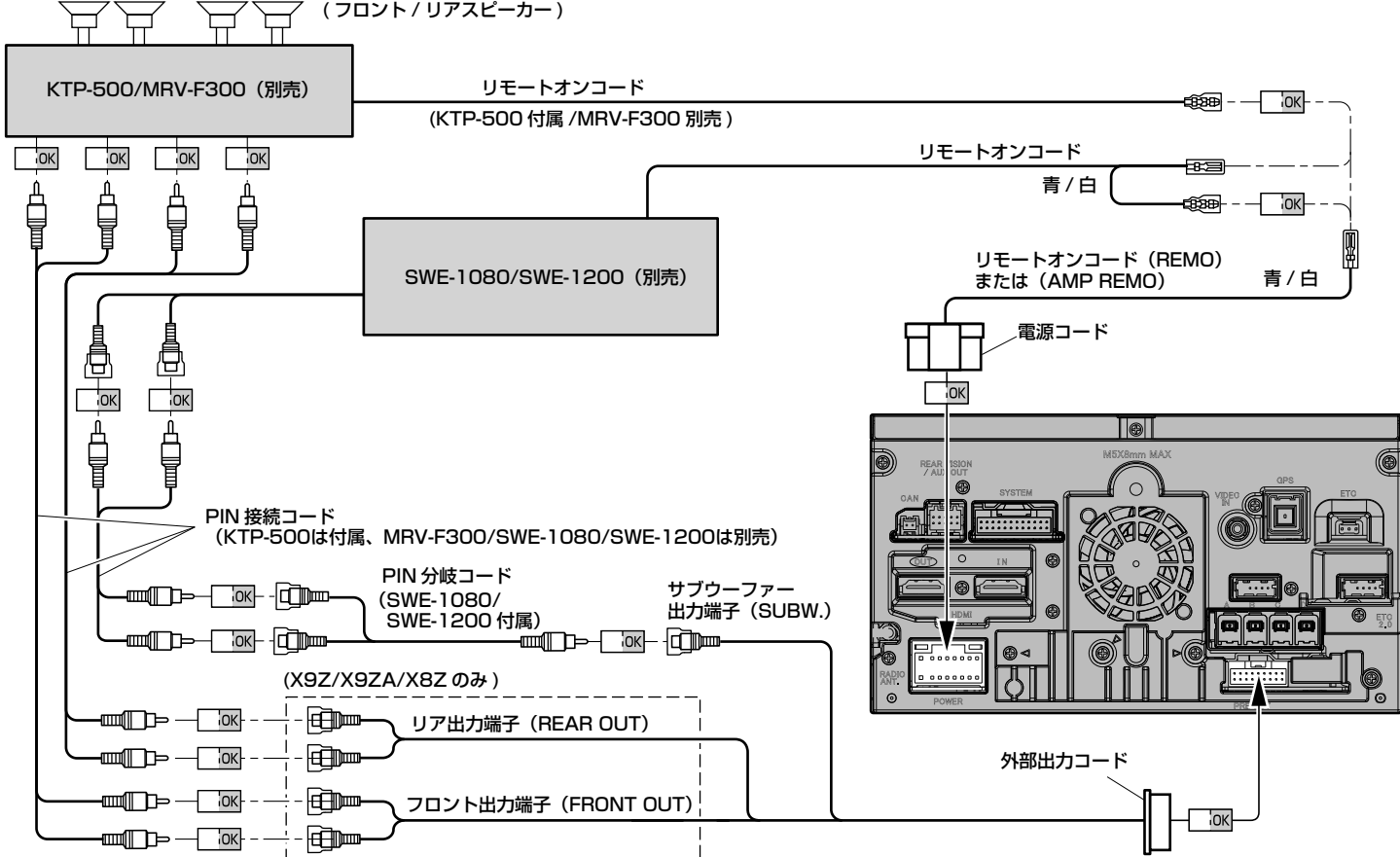
ETC2.0 / ETC車載器/外部機器/カーアロマを接続する



- ・ETC2.0 車載器とETC 車載器を同時に接続することはできません。
- ・DSRC 車載器HCE-B100(別売) およびビーコンユニットHCE-T062(別売)の接続には対応していません。

- ・ETC2.0 車載器とETC 車載器を同時に接続することはできません。
- ・DSRC 車載器HCE-B100(別売) およびビーコンユニットHCE-T062(別売)の接続には対応していません。

パワー・アンプ / パワード・サブウーファーを接続する



4. クイックセットアップ（販売店設定）を行う

取り付け完了後、初回起動時に「ようこそ」画面が表示されます。



ようこそ画面の **はじめる** にタッチすると、お客様のお車専用の音質設定や販売店登録、メンテナンスなどの設定を行います。

本設定終了後は、お客様向けクイックセットアップを行います。

お客様向けクイックセットアップについては、本機付属の取扱説明書「1. 初期設定」-「クイックセットアップをする」を参照してください。

ここでは、販売店向けクイックセットアップの設定方法の流れを説明します。

各設定項目およびお客様向けクイックセットアップの詳細な設定方法については、取扱説明書「クイックセットアップをする」または「車種専用チューニング画面について」項目を参照してください。

クイックセットアップを行う前の事前確認

リアビジョンリンク対応リアビジョンが接続されている場合で、リアビジョン側のシステム設定に[コーディネートカラーコントロール/プラズマクラスターコントロール] 設定がある場合は、本設定を行う前に必ずリアビジョン側を[ナビ]に設定してください。

1 ようこそ画面の **はじめる** にタッチする。

車種選択画面が表示されます。

2 画面指示に従って車種/各外部機器の接続有無を選択し **設定** にタッチする。

<設定項目>

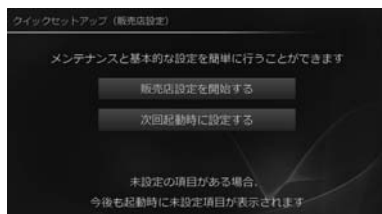
- 車種選択(メーカー / 車種)
 - リアカメラ選択※1
 - カメラ接続機器選択
(インターフェースボックス接続)※2
 - 汎用カメラ選択(サイドカメラまたはコーナーカメラ)
 - スピーカー選択(サブウーファー)
 - ステアリングリモコン選択
 - リアビジョン選択
- ※1 汎用カメラを接続し、「カメラあり」を選択した場合は「スピーカー選択(サブウーファー)」へ進みます。
※2 「なし」を選択した場合は、サイドカメラまたはコーナーカメラのどちらか1台、「あり」を選択した場合は2台まで選択できます。
- 選択した車種により設定項目が異なる場合があります。

各設定が終了すると確認画面が表示されます。

決定 → **はい** にタッチすると再起動します。

3 再起動後、クイックセットアップ(販売店設定)画面が表示されます。

販売店設定をする にタッチしてください。



4 販売店設定画面の **設定する** にタッチし、**地図から** **電話番号から** **住所から** のいずれからかの方法で販売店登録を行ってください。



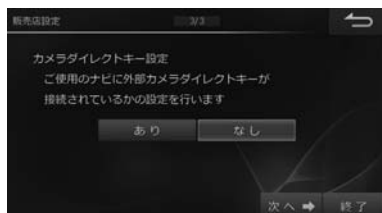
- 設定完了後、**次へ →** にタッチするとメンテナンス設定画面が表示されます。

5 メンテナンス画面の **設定する** にタッチし、オイル交換時期やタイヤ交換時期・車検時期等各項目を設定します。



- 設定完了後、**次へ** にタッチするとカメラダイレクトキー設定画面が表示されます。

6 カメラダイレクトキー設定画面の **あり** または **なし** にタッチします。



※ 手順4から6までの各設定項目を未設定のまま **次へ** をタッチした場合は、次の設定画面が表示されます。また、**終了** にタッチした場合は、販売店向けクイックセットアップが終了します。設定されなかった項目は、電源を入れるたびに販売店向けクイックセットアップ画面が表示されますので必ず設定を行ってください。

7 カメラダイレクトキー設定画面が完了したら画面の **終了** にタッチし、確認メッセージの **はい** にタッチしてください。

販売店向け専用チューニングが完了します。

販売店向けクイックセットアップ完了後は、お客様へ設定した内容をお伝えください。

5. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

1 (NAVI)スイッチを押します。

ナビメニュー画面が表示されます。

2 情報/更新 にタッチします。



3 車両情報 タブにタッチし、車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



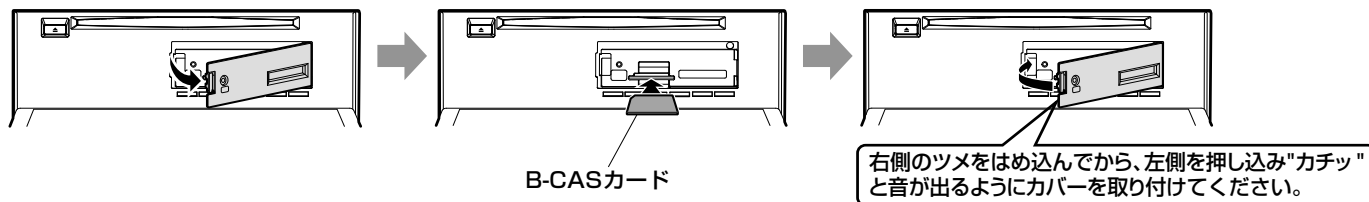
- 車速パルスは、停車時等車速が入っていない時はOFFと表示されます。

6. テレビの初期設定を行う

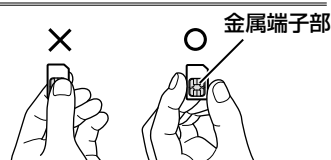
本機で初めてテレビを見るには、B-CASカードを挿入し受信可能なチャンネルを登録する初期設定が必要です。

<B-CASカードを挿入する>

付属のB-CASカードの表面を上にして”カチッ”と音がするまで差し込んでください。



- B-CASカード裏面の金色端子部に触れないよう、カードの側面を持ってください。カード端子部に手を触れた場合、手に付着している見えない異物が端子部に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- 手ごたえがあるまで確実に挿入してください。
- 通常、B-CASカードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了してもB-CASカード破損等の場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは取扱説明書「テレビを見る」-「B-CASカードについて」を参照してください。



<チャンネルを登録する>

1 (AUDIO)スイッチを押します。
AVソースメニュー画面が表示されます。

2 **TV** にタッチします。



3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**完了** にタッチします。



4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチし、**完了** にタッチします。



5 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチし、**ホームスキャン** にタッチします。



ホームモードスキャンが実行されます。スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

- ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。
- テレビの初期設定完了後、B-CASカードが正常に機能しているかテストすることができます。詳しくは取扱説明書「テレビ設定画面について」の **B-CAS情報** を参照してください。

■車種専用チューニングを行います

本製品には下記の車種専用チューニングデータを格納しております。

【格納車種】

- ・プリウス【30系MC後】（初期設定）
- ・プリウス G's
- ・プリウス【30系MC前】
- ・プリウス MY COORDE【木目調】
- ・プリウス MY COORDE【Gold】
- ・プリウス PHV

【初期設定時の各設定項目】

リアカメラ接続	インターフェースボックス接続	サイドカメラ接続	サブウーファー	ステアリングリモコン
HCE-C1000D	なし	なし	なし	設定する

【ご注意】

以下の場合のみ車種専用チューニングが必要となります。以下手順にて操作してください。

- ・初期設定の車種 / グレード以外に変更する場合。
- ・リアビジョンを追加する場合。
- ・初期設定以外のカメラ等のオプション品を取り付ける場合。



HCE-C2000RDシリーズ(マルチビューリアカメラ)については、ナビゲーションと接続時のみ接続設定できる仕様となっているため、車両への取付け後に必ず接続設定を行ってください。
※設定画面でHCE-C2000RDシリーズが表示されない場合は、カメラが正常に接続されているか確認してください。

【操作手順】

製品起動時に「ようこそ」画面が表示された場合は **はじめる** にタッチしてください。（車種専用チューニング画面へ移行します）
「ようこそ」画面が表示されない場合は以下手順で設定を行ってください。



1. **MENU**（メニュー）スイッチ ▶ **設定** ▶ **車種専用チューニング** ▶ **車種選択** ▶ **リストから選択**
2. **メーカーを選択** ▶ **決定** ▶ **車種を選択** ▶ **決定**
3. **接続機器の設定** ▶ **決定**
 - ・リアカメラ接続 : カメラの製品名、または **カメラあり** **カメラなし**
 - ・インターフェースボックス接続 : **あり** または **なし**
 - ・サイドカメラ接続 : カメラの製品名、または **カメラなし**
 - ・サブウーファー : **あり** または **なし**
 - ・ステアリングリモコン : **設定する**
 - ・リアビジョン* : **あり** または **なし**

※リアビジョン設定がある車種を選択し、リアビジョンリンク対応リアビジョンを設定している場合のみリアビジョン選択画面が表示されます。
4. **設定内容を確認** ▶ **決定** ▶ **メッセージを確認** ▶ **はい**
5. 再起動後、設定した車種のオープニング画面で起動すれば設定終了です。

（平成29年5月1日現在）

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

●インフォメーションセンター

<電話でのお問い合わせ>

TEL: 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。（携帯電話・PHS: 20秒10円）

一部のIP電話など、接続できない場合は次の番号をご利用ください。

TEL: 03-6704-4926

<メールでのお問い合わせ>

ホームページのお問い合わせフォームより受け付けています。



●電話受付時間（日曜・祝日・弊社休業日を除く）

月曜～金曜日 9:30～17:30

土曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:00

<FAXでのお問い合わせ>

FAX: 045-522-8700

- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関しての質問と回答をご紹介します。

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタムサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタムサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/宮崎県/沖縄県